

「パブリックコメントで寄せられたご意見への回答」

①ご意見への回答

	意見の分類	主なご意見の例示	回答(考え方)
1	①緑・緑軸 意見総数15件	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの区間も緑軸を優先して考慮すべき</li> <li>区間⑤は道路が主目的な感じがし、「緑軸」という基本構想に反する</li> <li>区間⑤はもっと緑をふやし「緑と観光」の場として住民が集える場所に</li> <li>上流の森、下流のピオトープなどを含む、全国初の緑の川にしては</li> <li>駅近くの大切な緑地を守っていくような計画を</li> <li>自然のまま残すことはどうしてできないのか</li> <li>雑木林のような市民の森を実現してください</li> <li>やさしさと緑のいっぱいある憩いの場所に</li> <li>緑で取り囲む(活動的にも、憩いの場所的にも)ゾーンを望む</li> </ul>	<p>緑の整備について、琵琶湖～メロン街道間においては琵琶湖や河川の自然環境を保全しながら、自然にふれあえる空間整備を目指しています。また、メロン街道より上流の各区間においては、桜や紅葉など四季折々の植樹を行い、里山的な空間を極力保全していくことを基本としながら、区間毎の特色を活かすことのできる空間整備を目指しています。</p> <p>特に区間⑤は、天井川の堤防、桜並木、草津川マンポ、JRTンネルといった、歴史的価値の高い施設が数多く存在しており、これらの貴重な資源を活かした観光拠点としての役割を担っています。現在の桜や緑はできるかぎり保全し、さらに新たな植樹を行うことなどにより、憩いやうるおいある空間整備を目指します。</p>
	②公園 意見総数23件	<ul style="list-style-type: none"> <li>草津は公園が少なく緑を残してほしい</li> <li>「水と緑」をキーワードにした公園</li> <li>人や環境にやさしい広々と緑に包まれた公園</li> <li>大規模な公園はまちの「豊かさ」「誠実さ」をアピールできる</li> <li>都市部は全面公園で残すべきだ</li> <li>野外イベントができ、環境の良い広域的な公園</li> <li>子供から大人まで多目的に利用できる(ふれあえる)公園</li> <li>安心して利用できる公園</li> <li>近隣住民だけでなく、市内や市外からも、観光客が訪れる公園</li> </ul>	<p>市民にとって安全で快適な公園整備となるよう、歴史空間、スポーツに親しむ空間、農に親しむ空間づくりなど、地域の特性を活かしエリア毎に特色ある魅力づくりを目指しながら連続した公園整備を行います。</p> <p>さらに現在の桜や緑はできるかぎり保全し、桜や紅葉など四季折々の新たな植樹を行うことなどにより、憩いやうるおいの空間を整備します。また、草津川跡地を魅力ある空間として維持していくためには、市民の皆様の協力が不可欠となり、官民協働による維持管理をより一層充実していく必要があります。市民の皆様が積極的に参画でき、草津川跡地に愛着を持って守り育てていただけるような仕組みを検討します。</p>
	③憩い・うるおい 意見総数29件	<ul style="list-style-type: none"> <li>区間⑤には憩いの広場(大路には公園や緑がまったくない)</li> <li>子供から老人まで遊んだりくつろげる空間</li> <li>“草津の森”に生物や人が憩える空間</li> <li>花見ができるゆったりとした空間</li> <li>可能な限り緑地化し市民の憩いの場、集える場をつくる</li> </ul>	
2	防災対策優先(防災広場) 意見総数6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災空間として草津川を確保する</li> <li>交通優先より防災を優先すること</li> <li>地震対策として安全な道路は必要</li> <li>地下に備蓄倉庫、水タンク等の避難施設を備えた公園</li> <li>既存の土手は大火災時の防火壁とする</li> <li>川床は避難場所として利用</li> <li>ソーラー発電を利用した自己完結型の照明灯の設置</li> <li>交差する下水道配管に直接落とせるトイレの設置</li> <li>雨よけ、日よけ用の仮設テントの設置スペースの確保</li> </ul>	<p>草津川跡地には広場などのオープンスペースを配置し、災害時の一時退避場所や集合場所を確保するとともに、近隣の広域避難所との連携を図り、防災対策を進めます。道路はこれらのオープンスペースに安全で速やかにアクセスするための重要な施設として、また避難路として位置づけております。さらに広場は、緊急物資の輸送拠点としてのヘリポート、備蓄倉庫、防火水槽、飲料用水の貯水施設など様々な防災施設の導入についても具体的な検討を進めていきます。</p> <p>国道1号トンネルについては、魅力ある景観性や歴史性をもった資源ではありますが、所定の必要高さが確保できておらず、地震時などは緊急車両の通行ができなくなるという問題を抱えています。防災機能の強化という観点から、基本構想では国道1号交差点の平面化を検討しておりますが、具体的な整備手法については基本計画の中で議論を重ねていく必要があると考えております。</p>
3	にぎわいの創出 意見総数3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緑」をまちづくりの主体にした空間づくりで中心市街地の活性化</li> <li>道路の整備により中心市街地のにぎわいがなくなる</li> <li>住民以外にも来ていただけるようなにぎわいの創出</li> <li>ただの広場に人は集まらない</li> </ul>	<p>様々な魅力を有する草津川跡地という大切な資源を維持しながら、花見・紅葉狩り・ライトアップなど四季折々の魅力あふれるイベント開催によるにぎわいの創出や、民間活力を導入してオープンカフェ、セレクトショップなどの店舗の配置によるにぎわいの創出を図ることで、まちの魅力を高めることを目指しています。</p> <p>中心市街地においては、にぎわい拠点へのアクセス性を高め、また、駐車場の整備を進めることで観光客や来訪者の市街地における回遊性を高めることが、草津川跡地だけでなく市街地(商店街)のにぎわいの活性化に繋がるものと考えています。</p>
4	観光の拠点 意見総数3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>地の利を活かした観光の拠点づくり</li> <li>観光客に来てもらえる場所</li> <li>歴史遺産として観光の拠点になる</li> <li>草津川は草津市の名物である</li> <li>草津川を観光資源として本陣とセットで残す</li> </ul>	<p>区間⑤は、天井川の堤防、桜並木、草津川マンポ、JRTンネル等といった、歴史的価値の高い施設が数多く存在しています。基本構想では、これらを最大限保全し歴史的観光資源として、周辺の草津宿本陣や立木神社などと連携しながら活用していくことを考えており、これらの施設への回遊性については今後、基本計画の中で引き続き検討していきます。</p>
5	歴史空間の保存と景観づくり 意見総数31件	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共事業による景観破壊の危惧</li> <li>道路にすると歴史的景観がなくなる</li> <li>国道1号上の堤防道路を生かした景観</li> <li>堤防からの眺望を守る</li> <li>歴史的な堤防として残すべきである</li> <li>歴史ある天井川、桜並木、緑を残す</li> <li>歴史ある草津市を市内外に対し強力に案内して、長浜、彦根、近江八幡のように知名度を高めたい</li> <li>東海道と中山道の分岐・合流点在天井川にあるという地理的特殊性を大切にしたい</li> <li>堤防は歴史遺産として現状のまま保存すべきである</li> <li>JR、国道1号、商店街のマンポを残すべきである</li> </ul>	<p>草津川跡地は、天井川の堤防・桜並木・草津川マンポ・JRTンネルといった草津市の貴重な歴史的資源や、草津川跡地の特徴である眺望や優れた景観を有する魅力あふれる空間です。これらは極力保全し、歴史的観光資源として最大限活用していくとともに、歴史を意識したこだわりのある景観づくりを行うことで、魅力あふれる空間づくりを目指していきます。</p> <p>今ある草津川跡地が持つ景観、眺望、歴史性などの魅力を最大限に活かせるように、来年度実施する基本計画の中で検討を進めます。また、施設の整備についても、周辺の景観に溶け込むようなデザインとなるよう慎重に議論を重ねていきます。</p> <p>国道1号トンネルについては、魅力ある景観性や歴史性をもった資源ではありますが、所定の必要高さが確保できておらず、地震時などは緊急車両の通行ができなくなるという問題を抱えています。防災機能の強化という観点から、基本構想では国道1号交差点の平面化を検討し、併せて国道1号沿いの安全な歩道整備も計画しておりますが、具体的な整備手法については基本計画の中で議論を重ねていく必要があると考えております。</p>
6	さくら保全 意見総数12件	<ul style="list-style-type: none"> <li>お花見ができなくなるのではないかと</li> <li>桜並木や花見の場所を残して</li> </ul>	<p>草津川跡地の桜並木は、桜の季節になると多くの花見客が訪れる魅力ある資源の一つであるといえます。この桜並木は最大限保全していくとともに、さらに新たな桜の植樹を行うことなどにより、憩いやうるおいの空間を創出することを目指します。また、桜に限らず紅葉など四季折々の植樹を行うことにより、それぞれの季節で花木と親しみ、市民が憩える場とします。</p>
7	子どもが安全に遊べる空間 意見総数14件	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心してボール遊びや自転車の練習ができる場</li> <li>子どもたちが心身共に健全に育つ環境の場</li> </ul>	<p>市民ニーズや区間毎の特性に合わせて設定した土地利用基本方針に基づいて、市民にとって使いやすい形態となるよう、具体的な施設については、今後基本計画の中で検討し、市民の皆様からいただいた意見を参考にしながら導入していきます。</p>
8	スポーツエリアの拡大(区間4) 意見総数 1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間活用エリアをスポーツ広場エリアの拡大に利用する</li> </ul>	<p>基本構想に示すとおり、区間④は沿川の特性や周辺の現状土地利用に応じて、市民の多様なニーズに対応できる土地利用を考えております。スポーツ広場に隣接する民間活用検討エリアにつきましても、市営住宅地跡地が隣接する立地条件を活かして、双方の土地がより魅力的なものとなることを目指したものです。各エリアの具体的な整備内容につきましては、今後検討を進める中で決定していく予定です。</p>

	意見の分類	主なご意見の例示	回答(考え方)
9	区間⑤の堤体 切り下げ(利用 エリアの拡大)  意見総数 2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤体を2～4メートル程度切り下げ利用エリアを拡大する</li> <li>・堤体を片側切り下げて道路と利用エリアを離す</li> </ul>	<p>草津川跡地は、天井川の堤防・桜並木・草津川マンボ・JRTトンネルといった草津市の貴重な歴史的資源や、草津川跡地の特徴である眺望や優れた景観を有する魅力あふれる空間であり、これらは最大限保全していく必要があります。また、にぎわいの創出という観点からも、堤防や桜並木といった草津川跡地が有する資源は、観光の拠点を創出する観光資源として重要な役割を担っていますので、堤体は保存していくべきものと考えております。</p>
10	道路不要  意見総数78件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草津川跡地に道路は不要</li> <li>・区間5については道路(車道)は不要</li> <li>・排気ガス・騒音が増える</li> <li>・緑が失われる</li> <li>・安全な子どもの遊び場がなくなる</li> <li>・公園がなくなる</li> <li>・歴史遺産が破壊される</li> <li>・自然がなくなる</li> <li>・整備した道路に車が集中して交通渋滞を招く</li> </ul>	<p>道路整備に関する意見は多数いただいております。市民のみなさまの関心の高さを痛感しております。市民のみなさまの声を反映した整備手法について、さらに議論を深めていく必要があると考えています。</p> <p>道路施設は、東西のモビリティや桜並木などの観光拠点へのアクセス性を高めるとともに、草津川跡地や中心市街地の回遊性を高める役割を担っています。また、災害時には避難場所や一時集合場所へ安全で円滑に移動したり、災害救援物資を安全に速やかに運搬するための重要な施設といえます。一方で、道路施設は、周辺の景観や環境の支障になることも考えられ、現在の桜や緑はできる限り保全し、さらに新たな植樹を行うことなどにより憩いやうるおいの空間を創出するとともに、草津川跡地の魅力や歴史的価値のさまたげとならないよう、区間毎の土地利用基本方針や特性を踏まえた最適な道路構造(道路幅員、舗装の種類など)、最適な道路の運用方法について今後検討を進めていきます。</p> <p>特に区間⑤は、旧街道や草津宿本陣が隣接する歴史的な区間であるとともに、中心市街地との関わりも深い区間です。さらに、散策やジョギング、サイクリングなどの利用者も多く、桜の季節になると多くの花見客が訪れる魅力溢れる区間です。多くの魅力がひしめく区間⑤において、交通需要等を勘案して交通機能が必要かどうかについても、市民にとって最善の整備形態となるよう検討を進めます。</p> <p>国道1号トンネルについては、魅力ある景観性や歴史性をもった資源ではありますが、所定の必要高さが確保できておらず、地震時などは緊急車両の通行ができなくなるという問題を抱えています。防災機能の強化という観点から、基本構想では国道1号交差点の平面化を検討し、併せて国道1号沿いの安全な歩道整備も計画しておりますが、具体的な整備手法については基本計画の中で議論を重ねていく必要があると考えております。</p>
11	道路必要  意見総数7件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の交通渋滞を緩和するため道路は必要</li> <li>・地震対策として安全な道路は必要</li> <li>・桜の通り抜けができる車道</li> <li>・人口減少になってからでは税収が見込まれず、道路を造ることさえままならなくなるのではないか</li> <li>・大きな地震が起こったら、逃げる道は確保されているのか</li> <li>・国道1号の歩道整備</li> </ul>	<p>上記理由により基本構想(案)の一部を修正します。</p>
12	地下式道路 (駐車場)  意見総数4件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の上も広場等の利用を考えるべき</li> <li>・人と車が共有するのであればトンネル構造も検討すべき</li> <li>・天井川の地下を利用したパーキング</li> <li>・交差点以外はトンネル化</li> </ul>	<p>道路施設は、草津川跡地の魅力や歴史的価値のさまたげとならないよう、道路の是非の検討も視野に入れながら、道路整備におけるメリット・デメリット等を整理し、本市にとって最善のものとなるように検討します。具体的な整備手法については、地下式道路も含め基本計画の中で慎重に議論を重ねていく必要があると考えております。</p>
13	設置してほしいもの  意見総数9件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合運動公園付近には駐車場が必要</li> <li>・多目的な利用ができるグラウンドの配備</li> <li>・散歩、グラウンドゴルフができる場所</li> <li>・こどもの野球のできる場所</li> <li>・さらさらした流れや噴水、井戸の整備</li> <li>・農園にぶどう畑</li> <li>・自然生物の教室、研究館(ホタル、ゲンゴロウ、魚等)</li> <li>・土手にお花畑</li> <li>・スポーツ大会に対応した宿泊施設等</li> <li>・小魚釣り場</li> <li>・既存の土手は火災時の防火壁として利用</li> <li>・ソーラー発電を利用した自己完結型の照明灯の設置</li> <li>・雨よけ、日よけ用の仮設テントの設置スペースの確保</li> <li>・ドッグラン</li> <li>・グランドゴルフ、ゲートボール場</li> <li>・市民に花畑、菜園として貸し出す</li> <li>・植物園的に木、花を植える</li> <li>・観光駐車場エリアに案内所・みやげ店(例:草津特産品)・トイレ等</li> </ul>	<p>ご意見をいただいた各種施設や機能については、市民ニーズや区間毎の特性に合わせて設定した土地利用基本方針に基づいて、市民にとって使いやすい形態となるよう、今後基本計画等の中で検討していきます。その際には今回いただいたご意見や市民のご意見を参考にしながら、その実現性や費用・効果などを勘案したうえで導入を検討していきます。</p>
14	イベント  意見総数13件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外イベントの会場利用(現在も中山道草津の渡し、天井川の万灯灯り、宿場祭り(天井川舞台)で利用)</li> <li>・生け花教室</li> <li>・音楽会</li> <li>・花見ランチ会</li> <li>・エコ料理教室</li> <li>・家庭ゴミで土づくり(ECO活動)</li> <li>・「夢あかり街あかり一万燈のあかり」は継続してほしい。幻想的で素晴らしい。市民に必要なもの(まち起こしの資源)</li> <li>・散歩、グラウンドゴルフからライブ、大規模な祭りができる場所が欲しい</li> </ul>	<p>草津川跡地では、既存の桜並木が咲き誇り、桜の名所として有名です。この大切な資源を維持しながら四季折々の植樹を行い、今あるイベントはもちろんのこと、花見、紅葉狩り、ライトアップなどの様々なイベントを開催でき、年間を通じて魅力ある空間としていくための方策を検討していきます。具体的には、今後、市民の皆様や関連する各種団体等とともに検討を進めていきます。</p>
15	人口減少・高齢社会へ対応  意見総数3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々が歩いて集い憩いのあるまちづくり</li> <li>・高齢化社会の中でこの空間の利活用は今後どのようにしていくのか</li> <li>・人口減少時代に道路は不要</li> </ul>	<p>草津川跡地と主要な南北道路との交差部には、バス停、駐車場、駐輪場、シェアリング方式のレンタサイクルなどのモビリティを高める施設を配置することで、東西に細長い草津川跡地内の移動性を高め、全ての方が利用しやすいユニバーサルな空間整備を目指しています。</p> <p>草津市では平成32年度以降人口減少と共に高齢者人口が増加することが予測されています。高齢者の移動手段として公共機関のニーズの高まりなどが考えられますが、その移動を円滑に進めていくためには、今後も生活道路の必要性は高いと考えています。</p>
16	アダプト制度  意見総数5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹活動を行う</li> <li>・市民が参加して里山、ビオトープなどを作る</li> <li>・住民の協力を得て維持管理する</li> <li>・学校と市が協力したボランティア活動</li> </ul>	<p>草津川跡地を魅力ある空間として維持していくためには、市民の皆様の協力が不可欠となり、官民協働による維持管理をより一層充実していく必要があります。</p> <p>今後の基本計画の中で、市民団体・大学・市民等と共に、制度設計を行い、建設から維持管理に至る各段階で、市民の皆様が積極的に参画でき、草津川跡地に愛着を持って守り育てていただけるような仕組みを検討します。</p>

	意見の分類	主なご意見の例示	回答(考え方)
17	ワークショップの結論が反映されていない 意見総数2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ等での意見や提案が活かされていない</li> <li>広場の設置などが反映されていない</li> </ul>	基本構想策定の際には、全区間を通し、旧草津川広場暫定整備計画のために開催したワークショップで議論いただいた、ご提案内容を参考にし、可能な限り採り入れるよう検討を進めてきました。
18	①費用対効果(B/C) 意見総数2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用とその効果についての説明がない</li> </ul>	詳細な整備費用や効果などについては、整備内容が具体化する基本計画の中で精査していきます。
	②資金計画 意見総数6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な財源の出所を明確にする</li> <li>国県の補助が受けられなかった場合、計画をどうするか明示すべき</li> <li>事業(工事)期間や総事業費が記載されていない</li> </ul>	草津川跡地利用の事業は、市が持続的発展をする上で重要な役割を担っており、早急に推進する必要がありますが、多額の費用を要するため、財源の確保は国の補助や滋賀県からの支援を受け、また民間資本の活用も視野に入れ、事業推進を図る必要があります。なお具体的な事業費・工期については、計画がより具体化する基本計画の中で算出していきます。
19	経済の発展 意見総数1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の発展の観点が少ない</li> </ul>	草津川跡地を活用し、どこにもない魅力的なまちとしてグレードを高め、商業等の発展に寄与することを目指していきます。
20	交通量調査 意見総数2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通量などの数字的根拠の提示が必要</li> <li>交通量調査は行われているか</li> </ul>	交通量調査については、来年度以降実施します。
21	情報公開のあり方(パブリックコメント、広報) 意見総数10件	<ul style="list-style-type: none"> <li>構想内容が理解できない</li> <li>市民が内容を理解しコメントできる十分な期間を確保すべき(募集期間が短い)</li> <li>パブコメの重要性について説明がない</li> <li>利点、不利点が不明</li> <li>市民の構想理解に対する配慮が不足(構想図をいろんな場所に掲示してほしい)</li> <li>アンケートの事前公表が必要</li> <li>全市民が理解されるよう告知方法を考えるべき</li> <li>広報の説明が不十分(情報が少ない)</li> <li>具体的な内容も全て公表すべき</li> <li>広報でも意見交換が必要</li> </ul>	<p>「草津市草津川廃川敷地土地活用検討委員会」は広く公募市民、学識経験者、地域代表者、市内団体代表者等で構成され、それぞれの立場からの意見を取り入れて、基本構想(案)を作成いたしました。</p> <p>広報では紙面の都合もあり、基本構想の内容のすべてを表現できないため、市のホームページに掲載するとともに、企画調整課や情報公開室、市民センター、まちづくりセンター、市民交流プラザ、隣保館などに基本構想の冊子を設置しております。</p> <p>パブリックコメントにつきましては、「草津市パブリックコメント制度実施要綱」に基づき、一定のルールのもとで実施しましたが、今後は、市民の皆様へ周知しご理解していただくために、今回皆様からの貴重なご意見を参考とさせていただきますながら、より効果的な情報公開の方法を検討します。</p> <p>また、アンケート等の内容、結果については、ホームページ上の企画調整課のサイトで、「草津市草津川廃川敷地土地活用検討委員会」の審議内容と共に掲載しています。</p>
22	市民の意見を聴く(計画周知) 意見総数7件	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の市民で作成したパブコメ(案)に疑問</li> <li>多くの意見を聞いて欲しい、説明して欲しい</li> <li>計画段階から周辺自治会が内容認識できるのが望ましい</li> <li>住民を無視するようなやり方に憤りを感じる</li> <li>周辺住民に構想の説明を行い広く意見を求めるべき</li> <li>近隣住民だけの意見での反映では困る</li> </ul>	基本構想の策定に際しては、市民アンケートを実施し、その結果に基づき議論を進めてきました。基本計画を策定する際には、今回のご意見も踏まえた中で、市民への説明方法も含め多角的に検討を行い、議論を深めていきます。
23	表記誤り・訂正 意見総数1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR琵琶湖線の草津駅および南草津駅の利用状況について平成14年度と平成21年度で比較すると、とあるが平成21年度発表の調査結果は平成20年度時点の調査ではないのか</li> </ul>	表記の誤り等については、確認の上、修正が必要な箇所は修正します。